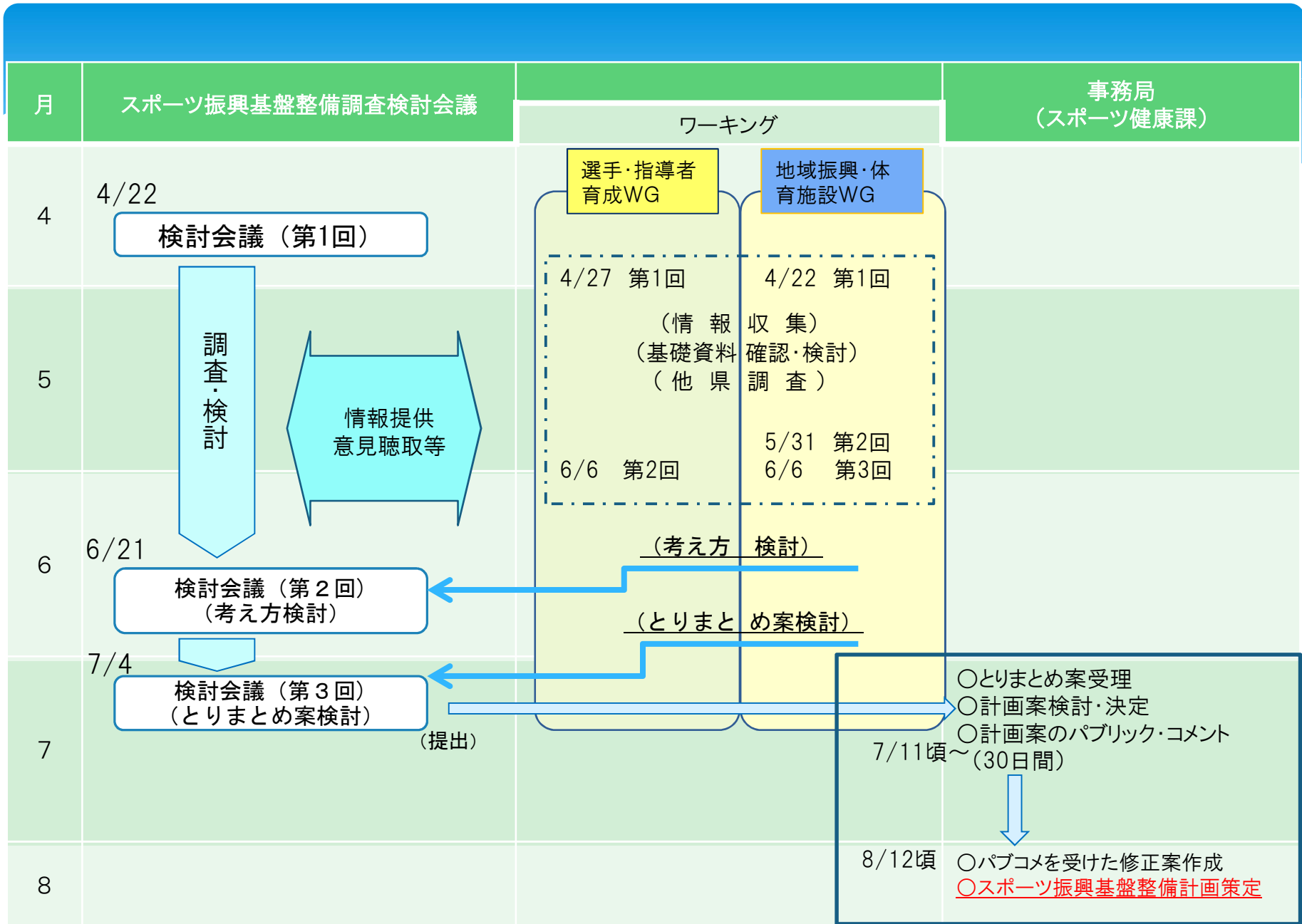


これまでの検討状況について

平成23年7月4日
青森県スポーツ振興基盤整備調査検討会議



○ これまでいただいた意見等のとりまとめ案への反映状況について

意見等概要	反映状況
<p>総合型地域スポーツクラブについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指導者の人材育成、資質の向上が非常に重要 ○広報活動等による周知と理解に努めることが重要 ○クラブと行政が一体となって進めていく必要がある(コミュニケーション不足の解消) 	<p>○学校体育との棲み分け・補完を図るなど、本県の実情に見合った「青森版総合型地域スポーツクラブモデル」の構築や、青森県広域スポーツセンターによる支援の充実、積極的な情報発信などにより、総合型地域スポーツクラブの育成・活性化に取り組むことを案に盛り込んだ。 (26ページに記載)</p>
<p>学校体育と総合型地域スポーツクラブの棲み分けを図り、お互いが出来る部分と出来ない部分を明確にし、青森県としてお互いの良いところをどのように取り上げて進めていくかということを考える必要がある。</p>	
<p>成人のスポーツ行動の実施率がきわめて低い状況にあって、「県民だれもが生涯にわたって主体的にスポーツに親しめる」ようにするには、組織に属さない、自分のペースでやりたいという個人をどのようにサポート(情報発信や体育施設を中心とした体制構築など)していくかが大事になる。</p>	<p>○各体育施設の利用案内やイベント情報等に関する情報発信を強化することを案に盛り込んだ。 (26ページに記載)</p>
<p>かつて行われていた大学チームの合宿がなくなったのは、個人的な繋がりで誘致した例が多く、コーチが変わることによって継続できなかったため。スポーツ・コミッションということで、人(個人)から組織で支える体制に変えていくことが大事。商工会としても取り組んで行きたい。</p>	<p>○スポーツ・コミッション活動の推進に向けた検討を実施することを案に盛り込んだ。 (39ページに記載)</p>

○ これまでいただいた意見等のとりまとめ案への反映状況について

意見等概要	反映状況
<p>神奈川県では、ゆかりのアスリートによる「かながわアスリートネットワーク」という組織があり、アスリートたちが、子どもたちを対象としたスポーツ教室やスポーツに関するシンポジウムなどに率先して取り組み、地域におけるスポーツ振興や社会貢献に取り組んでいる。青森にもアスリートがたくさんいるので、そのような活動を通じて、スポーツでの社会貢献ができればと思う。</p>	<p>○本県ゆかりのアスリートによる「(仮称)あおもりアスリートネットワーク」の創設及び活動について検討することを案に盛り込んだ。 (25ページに記載)</p>
<p>本県のスポーツ振興を図るためには、全国規模の大会及びプロスポーツの公式戦を開催できるような体育施設の整備が大切。 本県での国体開催を踏まえれば、総合開会式ができる陸上競技場の整備が重要。陸上競技場は、サッカーやラグビーなどプロの公式戦が開催できるような付帯設備も整備されると思われ、優先的に整備されることを望む。</p>	<p>○陸上競技場、水泳場、野球場の整備に当たっての考え方と各施設に関する与条件を整理したところ、陸上競技場を最優先整備施設とすることが適当であることを案に盛り込んだ。 (68ページに記載)</p>
<p>スポーツは大きな広がりを持っており、県民がこぞってその利益を享受すべきもの。(整備すべき体育)施設は多々あるが、より多くの方々にその施設を利用していただくための検討がなされる必要がある。</p>	<p>○競技人口の拡大や地域スポーツの振興、スポーツを通じた地域づくりの推進等に向けた施策を検討・推進していくことを案に盛り込んだ。 ○「するスポーツ」のみならず、「みるスポーツ」により、多くの県民が利益を享受することが期待される、陸上競技場を最優先整備施設とすることが適当であることを案に盛り込んだ。 (68ページに記載)</p>
<p>競技場を整備するという事は、選手だけにプラスになるのではなく、これから伸びていこうという多くの子供たちや県民が、すばらしい試合や大会を見ることによって、様々な感動を体感できるチャンスを得られるということ。 そのためにも、整備にあたって優先順位はあるにしろ、大規模大会やプロスポーツを誘致できる、きちんとした規格で競技場が整備されることを期待する。</p>	<p>○各施設とも、国体等の大規模大会の開催やプロスポーツ(公式戦)の開催が可能な仕様で整備することが必要であることを案に盛り込んだ。 (9ページ、60～67ページに記載)</p>